

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	文化スポーツ課
施設名	世界の民俗人形博物館			
所在地	須坂市大字野辺1367-1			
施設設置目的	市民文化の向上に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造地上2階 延床面積950.34㎡			
建設年月	1997年8月	指定管理 開始年月	2009年4月	

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団			
指定期間	2019.4.1～2024.3.31			
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務			
職員体制	常勤： 3名 非常勤： 2名 合計： 5名			
(専門職、役職等内訳)	学芸員1名			

1 施設利用状況

			実績				
項目	単位	目標値	2021年度	2022年度	2023年度	対前年比	対目標値
入場者数	人	21,242	9,319	19,728	17,170	87.0%	80.8%
		※2017-2019 実績平均値					
特記事項	2022年度は、善光寺御開帳に伴う団体客が多かったことが要因と考えられる。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料			収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料						
	その他				その他		
	収入計				収入計		
支出	人件費			支出	指定管理料		
	需用費				修繕費		
	役務費				備品購入費		
	その他				その他		
	支出計				支出計		
管理事業損益（a）				管理事業損益			

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	アンケート記入方式(来館者)
	(2)調査等の結果
	398人回答
②利用者の声	(1)良好とする評価
	(ドールフェスタⅣ)
	・県外の出展者も多く楽しめた。個性豊かでいろいろな表情があり勉強になった。
	・どの人形も表情があり細やかな作業に驚かされた。
	・球体関節人形に興味があり、県内での開催を知り興奮した。生きているようで魂がこもった作品に感動した。
	・4年前に初めてこのドールフェスタに来て、その個性豊かな作家作品に感動して毎年来ている。新しい作家さんの作品が見れて良かった。
	・心休まる作品をみせてもらうことができ癒された。
	・額入りの立体人形がとてもすてき。絵から出てくる感じがすごいと思った。
	(三十段飾り千体の雛祭り)
	・実際に着物を着て写真が撮れた「なりきり体験」が良かった。
	・テレビで見るとより実際近くで見た方が素晴らしい。
	・インスタ映えるのでSNS等でもっと広まり、もっとメジャーなスポットになるといいと思う。春らしい明るい気分になった。
③利用者の声	(しあわせのリカちゃん展)
	・プレーコーナーがあり子どもがとても喜んだ。
	(全般)
	・作品及び建物のコーディネートが大変良い。
	・一体一体のお人形に心が揺さぶられた。館内の雰囲気から小池千枝さんの思いが伝わり非常に浄化され、贅沢な時間を過ごさせていただいた。
	・世界を旅したような気分になった。小池千枝さんをもっと知りたくなった。
	・世界の人形をみて「衣装」について考えることが出来た。中世の衣装が大好きなので、とても楽しかった。19世紀のファッションドールはいつ見ても良い。
	・駐車場から博物館に来るまでの道のりが森の中を歩いているようで素敵であり、館内も静かで落ち着いて観覧ができた。須坂にこんな素敵な場所があるのを知らなかった。
	・8/11のワークショップが楽しかった。
	・パンフレットで作った紙袋が良い。
	・クリスマスコンサートが楽しかった。

	(2) 苦情・改善の要望 (ドールフェスタⅣ) ・人形を作る動画があると面白い。 (三十段千体の雛祭り) ・ホールの段飾りの前の水色の椅子が邪魔だ。ずっと座って話されて写真も撮れず雰囲気も残念。 ・キャプションが見えないものがある。 ・雛人形の年代が欲しい。 ・そろそろリニューアルを望む。 (五月人形菖蒲の節句) ・雛人形と同じ段で飾ってあるが内容の違いが楽しいが、同期間に2回行きたいとはならない。 (全般) ・日本人形はあるのでしょうか。他館でも博多人形を展示しているところが少ない。 ・繭・養蚕などの須坂地方の絹織物関連民俗人形に興味がある。 ・各国の民俗人形にはもっと詳細な説明が欲しい。 ・ビデオをゆっくり観たいので部屋でみれたらゆっくり観賞ができる。横のモニター音が大きくてテレビが聞きにくい。 ・民俗ダンスの映像は、もっと大きなTVで見せた方が良い。 ・以前開催のあった「こけし展」を開催して欲しい。 ・おもちゃ展の企画を望む。 ・世界の衣装の歴史の展覧会がみたい。 ・小池先生の60年代の洋服のコレクションが見たい。 ・民俗衣装に興味があり毎回楽しみに来館しているが、展示の人形が減っているように感じさみしい。 ・シルバニアのような子どもが喜ぶ展示を開催して欲しい。 ・アンケートをQRコードに。
③対応措置	・展示・企画内容へのご意見、ご要望は今後の企画の中で取り入れる等参考にする。 ・子どもが楽しめる空間として、体験コーナーや物理的スペースなど検討していく。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	◎	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	2
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
 B (適正) 合計14点
 B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点
 C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

企画展「しあわせのリカちゃん展」を10月7日から開催し、「三十段飾千体の雛まつり」は開催期間を版画美術館と歴史的建物園を1月13日から先行して開始し、人形博物館との共通開催は2月3日からとしたため、例年展示替えのため休館としていた年末年始も開館し、冬休み中の子どもたちやご家族での入館が多く見られた。

リカちゃん展に合わせて実施したぬりえコンテストも大変好評で、423点の応募があり、最高齢は81歳とお子様と一緒に、お父さん、お母さん、祖父母もぬりえに挑戦するほほえましい様子が見られ、家族のふれあいと絆を深める企画となった。

1月からの「三十段飾千体の雛まつり」は、県内テレビ局全ての取材、放映もあり、雛なりきり体験が非常に人気で、体験者333人、昨年度比約150人増となった。

恋人の聖地事業である春の森のクラフトフェアの秋バージョンである「クラフト&アートフェア2023」は、市内の他のイベントとの重複もあり、来場者数が前年度よりも減少し、次年度へ向け検討が必要である。

年間を通しての入館者は、対前年度比87%、2,558人減となった。昨年度は善光寺御開帳による団体入館も多く、今年度はワークショップや体験型展示に力を入れたがその減少分をカバーできなかった。

(2) 課題

コロナ感染症の5類移に伴い、個人の外出の機会は増えていると思うが、県外からの団体ツアーはキャンセルが多く、なかなか元に戻ってきていない。個人客の一層の集客を図るため、魅力ある展示を企画、検討していく必要がある。SNSを活用した一層の広報の充実と若い世代、ファミリー層へのPRの強化を図る。

開館26年を経過し、老朽化による機器の故障、施設の痛みも多く見られ、適切な維持管理が求められる。

(3) 次年度以降の取り組み

「三十段飾千体の雛まつり」は19回目となり展示の工夫と、体験型展示(なりきり体験)が人気があることから、より多くの人数受入れができないか検討する。

企画展「田村七宝二人展」の開催、恋人の聖地事業、ランニングフェスや秋の様々なイベントで他機関と連携し、相乗効果を図りながら誘客を進める。

恋人の聖地事業で実施している「クラフト&アートフェア」は、「スィーツフェスタ」「假屋崎省吾恋華めぐり」との同時開催とし、相乗効果による集客力アップにつなげる。

季節や行事に合わせたワークショップと、外部講師を積極的に活用したワークショップを実施し、新たなファンの開拓に努める。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

昨年度のシルバニアファミリー展に続き、今年度『しあわせのリカちゃん展』を実施し、市内のみならず、市外県外から入館者が多くみられ、小さなお子さんを連れた家族連れや、高齢者のグループなど年代も幅広く来館される企画展示等を開催している。